

山陰道がつながって

鳥取全体でインバウンドをおもてなし



山陰自動車道・境港(鳥取県)

● before

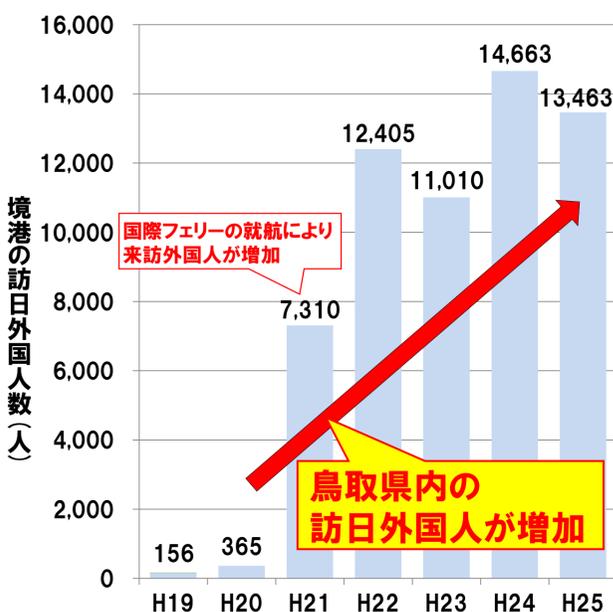
➡➡➡ ● after



「境港」に寄港するクルーズ船や国際フェリーで訪日する外国人が近年増加

山陰道整備による時間短縮効果で、鳥取県中東部方面へのツアー本数や新たな観光先が増加

観光客が大幅増加



道路整備とクルーズ客船ツアーの変化

年度	観光先	県中東部への ツアー本数
H23	なし	0本
H24	白壁土蔵群、とっとり花回廊、 水木しげるロード(水木しげる記念館)	1本
H25	白壁土蔵群、大山寺、お菓子の寿城、 鳥取砂丘(砂の美術館)	2本
H26	白壁土蔵群、大山寺、お菓子の寿城、 鳥取砂丘(砂の美術館)、 倉吉市内散策、青山剛昌ふるさと館 水木しげるロード(水木しげる記念館)	5本

(青字): 前年度より増えた観光先
□: 増えた観光先のうち県中東部に存在

道路整備に対する意見

- クルーズ客船ツアーの観光スポットは、概ね片道90分で目的地に到着できる箇所を設定。
- 1日(約7時間)、半日(約4時間)などのコースの時間制約がある中、短時間で多数の観光スポットを周遊できるものが好まれる。
- 山陰道がつながることで、県中東部へのツアーが開始された。

ツアーの増加に
山陰道の整備が貢献

鳥取県
文化観光スポーツ局
観光戦略課 担当者

ストツリ
効果

水質改善で

松江に新たな観光名所が誕生!!

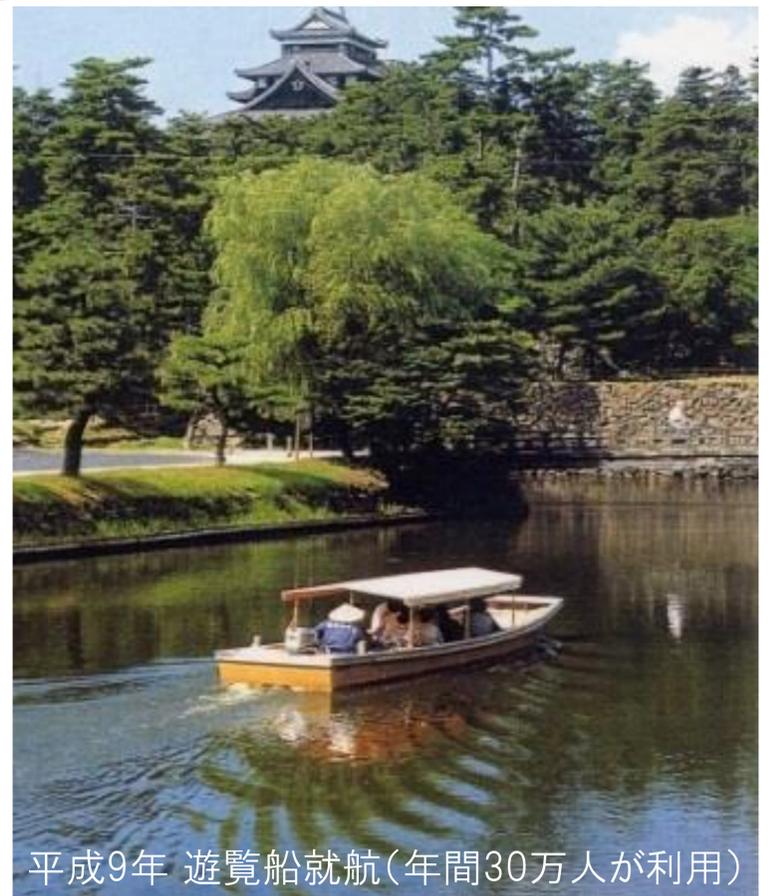


松江堀川浄化事業(島根県)

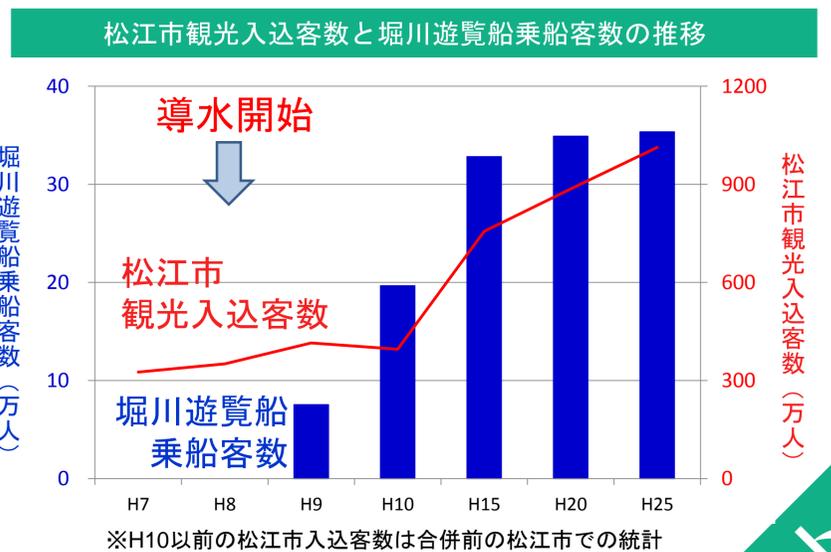
before



after



- 堀川の水質改善を図るため、平成8年から宍道湖の水を堀川へ導水する事業を開始、あわせて下水道整備や底泥浚渫を引き続き実施
- 平成9年には、堀川遊覧船が就航し、年間利用者約30万人規模の観光スポットとして定着
- 遊覧船の案内を高齢者の船頭が行うなど高齢者の雇用対策や生き甲斐づくりにも貢献(シルバー船頭さん:66人(うち女性10人))
- さらに、宍道湖湖岸の夕日スポットの整備や松江城と宍道湖を結ぶバスの運行により、周遊観光を促進



ストツク効果

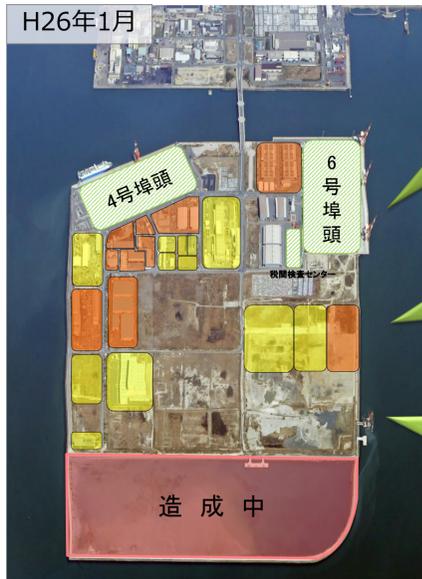
岡山県の経済・雇用を支える 国際物流拠点の誕生！



水島港(岡山県)

before >>> after

玉島ハーバーアイランドへの企業立地



新規立地企業
22社
(H27.5時点)

企業の
設備投資額
400億円
以上

雇用者数
400人以上

●...流通業 ●...製造業

- 平成14年から玉島ハーバーアイランドでのコンテナターミナルの供用を開始
- 供用後5年間で、水島港のコンテナ取扱量が約1.3倍に増加
- 企業活動も活発化し、これまでに400億円以上の設備投資が行われるなど、新たな設備投資や雇用を誘発
- 臨港道路の供用により、さらなる輸送効率化が実現

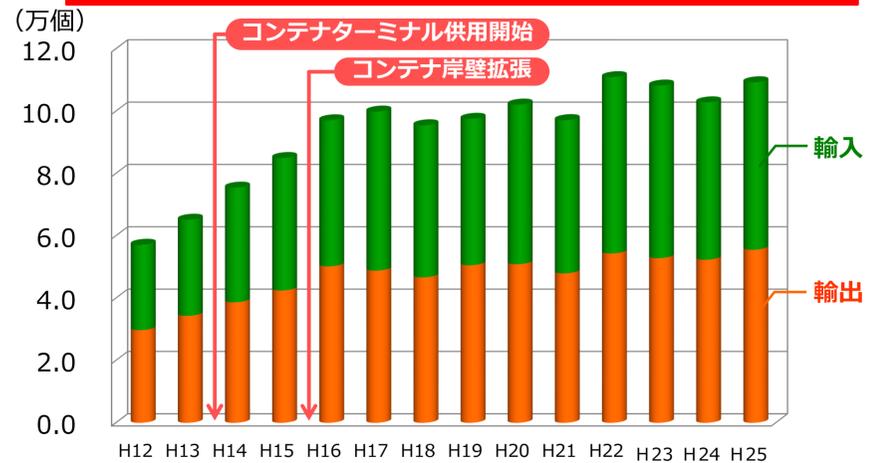
・完成自動車の出荷という面では断然水島港が優位。
・今後、臨港道路が完成すると、出荷にかかる時間が1台あたり5分短縮され、さらに便利になる。



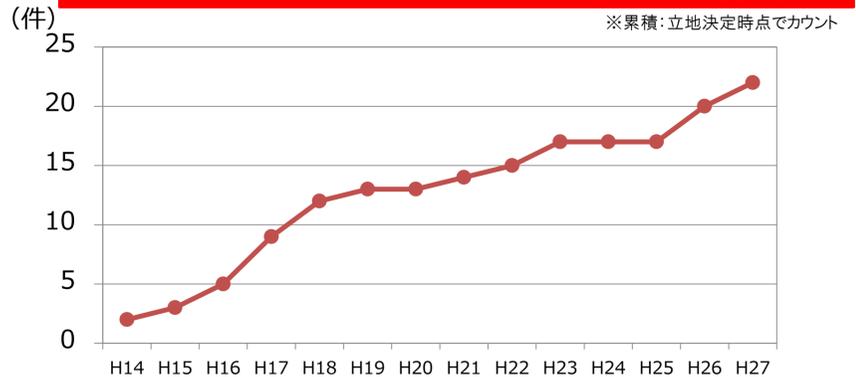
・世界の海へ通じる、玉島の地に大形プロペラの製造設備を移管することによって、世界中の造船所へダイレクトに輸送することが可能になった。
・輸送の効率化による業績向上で、従業員も10年間で3倍に増加した。



水島港のコンテナ取扱量



ハーバーアイランドへの企業立地件数



水島港における製品輸送の効率化



ストロウ効果

水の都ひろしま

集い安らぐ水辺空間の創出



元安川親水護岸(広島県)

● before

● after



整備前の状況(昭和63年)

親水テラス等の整備

- 世界遺産原爆ドーム前や平和記念公園を流れる元安川において、親水テラス等の整備により、「水の都ひろしま」にふさわしい風景を創出
- 河川空間の**利用の規制を緩和**し、オープンカフェを常設し、平和記念公園の来訪者に**憩いや交流の場を提供**。利用者数は7万人に



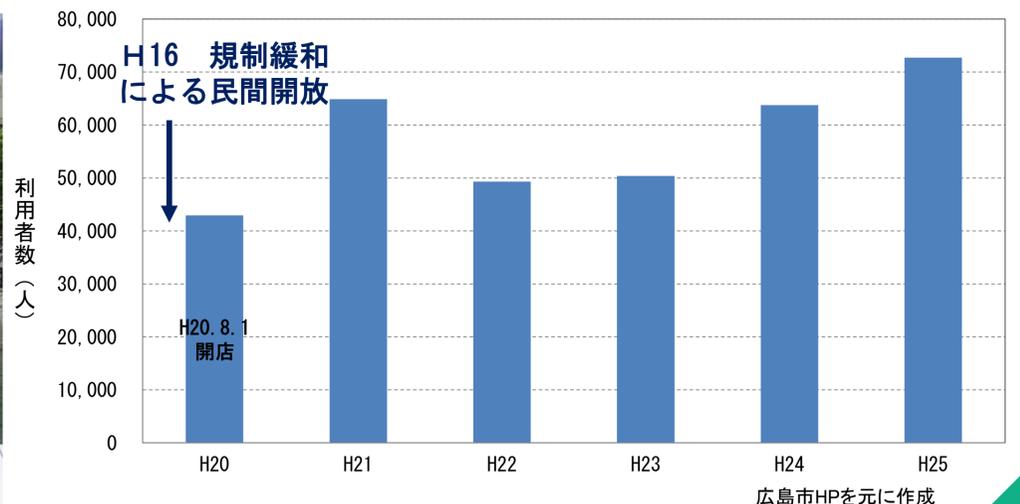
整備後の状況(平成14年8月)

元安川親水テラスの活用



水辺のコンサート(平成18年5月)

オープンカフェ利用者の推移



オープンカフェの利用者数が大幅に増加

ストツリ効果

エネルギーの安定供給を図り 企業の国際競争力を強化



徳山下松港・宇部港(山口県)

徳山下松港における石炭の流れ

発電した電力で身近な製品の基礎素材を製造



東南アジア、オーストラリア等から石炭を輸入

西日本各地の石炭火力発電所へ

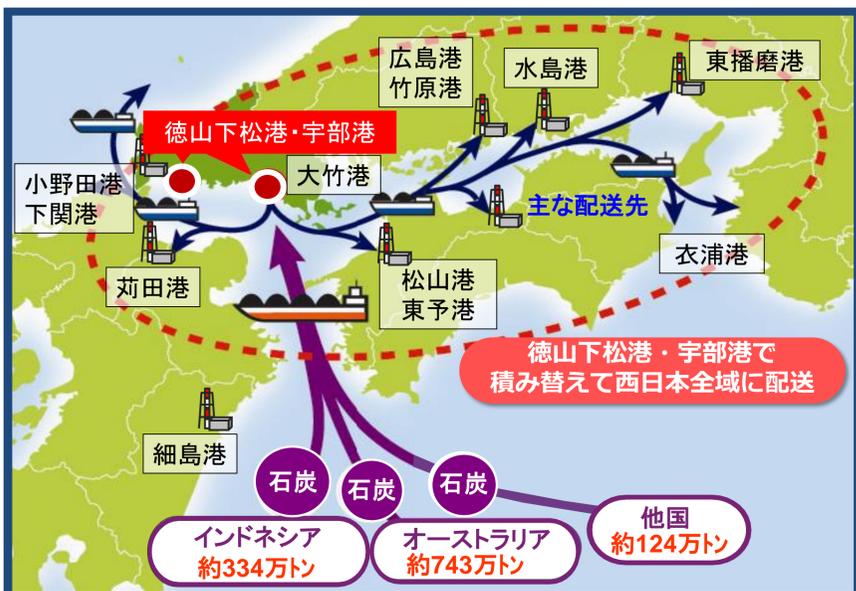
石炭輸入船の大型化

● before >>> ● after

- 徳山下松港・宇部港周辺には化学メーカーが集積し、化学コンビナートを形成
- 化学コンビナートでは主に、石炭火力で発電した電力で基礎素材を生産
- また、西日本の石炭輸入拠点である徳山下松港・宇部港で積み替えて西日本全域に配送
- 岸壁等の施設を整備することで、より大型の船舶での石炭輸入が可能となり、石炭の輸送コストを削減

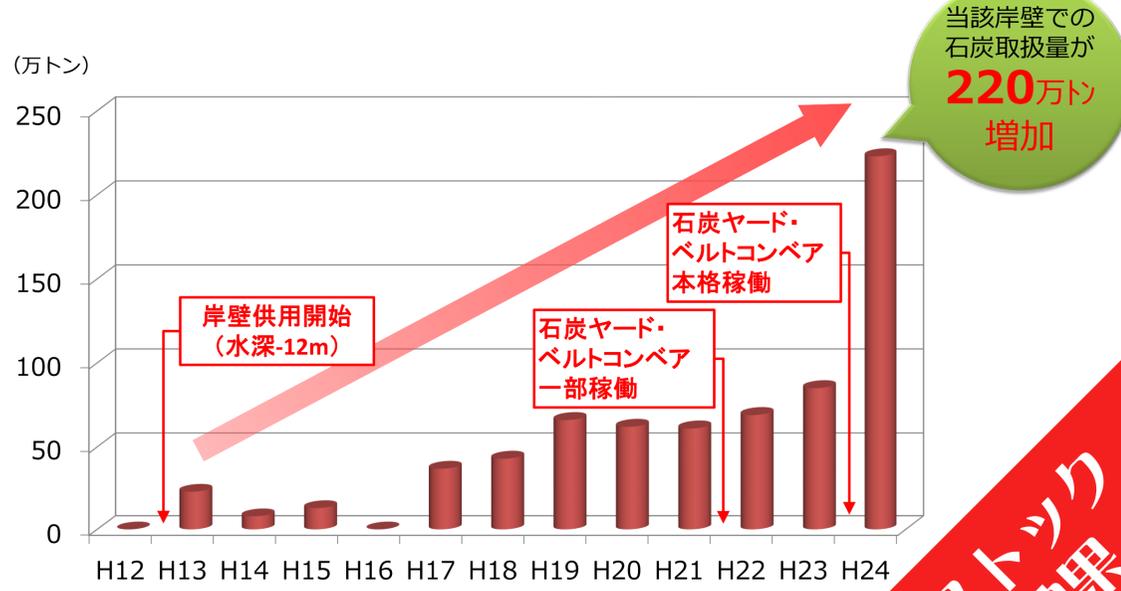


石炭の輸入・移出の流れ



※山口県は石炭取扱量 全国1位

整備した岸壁での石炭取扱量



ストック効果

LEDの灯を支える 地震津波対策



那賀川・桑野川地震津波対策(徳島県)

※阿南市牛岐城趾公園 LEDを使ったイルミネーション(写真:阿南市役所提供)

before

地震・津波対策実施前(H18)



after

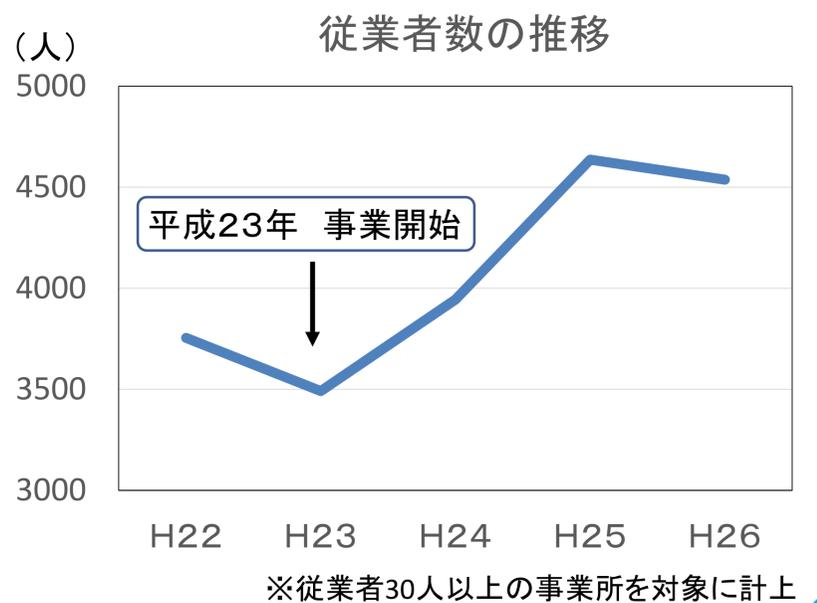
対策実施後(H27)



那賀川

那賀川右岸の堤防整備状況(那賀川左岸から望む)

- 南海トラフを震源とする巨大地震等に備え、那賀川河口部の堤防の嵩上げ等の地震・津波対策を実施
- これに合わせて、世界シェア1位の20%を占める発光ダイオード(高輝度)や関連製品などを生産し阿南市の主要工業地として発展。地域の雇用に貢献



ストツリ
効果